

組合員名簿

(2024年10月現在)

SDGs宣言会社

北海道

- 北海道
- (株)辻商会 旭川市 TEL.0166-47-2771
- (有)まるふく八田商会 上川郡 TEL.0165-34-2457
- (株)アシスト・フクダ 函館市 TEL.0138-48-2000
- (有)プロス 江別市 TEL.0111-380-2633
- (株)ピープル 苫小牧市 TEL.0144-51-8008
- (株)ケーエー車輛 北広島市 TEL.0111-377-5577
- (株)空知オートパーツ 赤平市 TEL.0125-34-4100
- (有)オカダオートパーツ 河西郡 TEL.0155-62-6833
- 釧路オートリサイクル(株) 釧路市 TEL.0154-57-3718
- (株)ポールド 北見市 TEL.0157-66-5775
- (株)ライズコーポレーション 札幌市 TEL.0111-802-2121
- (株)南商会 札幌市 TEL.0111-882-1770

東北

- 青森県
- (有)むつパーツ むつ市 TEL.0175-22-1021
- (株)エコブリッジ 八戸市 TEL.0178-38-6558
- 秋田県
- (有)サン・アール 由利本荘市 TEL.0184-22-5740
- (株)現代 鹿角郡 TEL.0186-29-3990
- 岩手県
- (有)三陸パーツセンター 下閉伊郡 TEL.0193-81-1155
- 山形県
- (株)永田プロダクツ 酒田市 TEL.0234-43-1272
- 宮城県
- (株)西武オートパーツ 大崎市 TEL.0229-23-3071
- (有)大友自動車工業 名取市 TEL.022-386-2461
- (株)アイエス総合 登米市 TEL.0220-21-5153
- 福島県
- (株)福島リパーツ 郡山市 TEL.024-946-1180
- (有)安澤商店 西白河郡 TEL.0248-27-1736
- (有)富山商会金屋工場 郡山市 TEL.024-944-1280
- (株)オートセンターNAO 大沼郡 TEL.0242-55-1055
- (株)ナプロアース 伊達市 TEL.024-573-8091
- (有)カンジ自動車商会 福島市 TEL.024-555-5131
- (株)デック いわき市 TEL.0246-47-1521
- (有)榎並商会 郡山市 TEL.024-944-4100

北関東

- 茨城県
- (株)茨城オートパーツセンター 小美玉市 TEL.0299-48-1398
- (有)田嶋商店 結城市 TEL.0296-32-1893
- (有)ポプラ 那珂市 TEL.029-350-6501
- 栃木県
- (株)栃木リパーツ 佐野市 TEL.0283-23-3256
- (有)しのぶや みどり工房 那須郡 TEL.0287-74-3077
- 群馬県
- (株)拓殖商会 伊勢崎市 TEL.0270-76-3683
- カーズチール(株) 前橋市 TEL.027-251-6365
- カーズチール(株) 東毛営業所 太田市 TEL.0276-56-6411
- 新潟県
- (株)共伸商会 新潟市 TEL.025-255-4111
- (有)黒塚部品 新潟市 TEL.025-377-2410
- リ・パーツ(株)坂井自動車 新潟市 TEL.0250-61-0501
- 埼玉県
- (株)3R 久喜市 TEL.0480-26-3559
- (株)C.R.S.埼玉 川越市 TEL.049-228-5111
- リバー(株) ELV川島 比企郡 TEL.049-299-2733

南関東

- 東京都
- (有)オートパーツ片岡 西多摩郡 TEL.042-556-2735
- 三協自動車(株) 調布市 TEL.03-3300-0685
- 千葉県
- (有)オートパーツ千葉 西葛市 TEL.0479-73-0830
- (株)トキオ 佐倉市 TEL.043-498-2461

- (有)オートサービス東関 千葉市 TEL.043-257-9449
- (有)リサイクルガレージケーワン 船橋市 TEL.047-457-5758
- (有)ベストパーツ 市原市 TEL.0436-24-4182
- リバー(株) ELV柏 柏市 TEL.04-7190-0980
- 神奈川県
- (株)大橋商店 横浜市 TEL.045-761-6551
- (株)ユピック 横浜市 TEL.045-642-5423
- 日産神奈川販売(株) サービス本部SR推進部 横浜市 TEL.045-823-2312
- (有)トリアル 横浜市 TEL.045-595-3035
- (株)杉之間 小田原市 TEL.0465-46-1082
- (株)コエイ リサイクルパーツ・厚木店 厚木市 TEL.046-220-1441
- 山梨県
- (株)テラダパーツ甲府営業所 中巨摩郡 TEL.055-287-7761
- 静岡県
- (株)ヤタパーツ 沼津市 TEL.055-921-9678
- (株)マルトシ青木 藤枝市 TEL.054-644-5656
- 太田部品(株) 御殿場市 TEL.0550-89-5110
- (株)コエイ 浜松市 TEL.053-462-1128
- オレンジパーツ平成 静岡市 TEL.054-253-5646
- (株)アンドーカーパーツ 下田市 TEL.0558-28-0939

北陸

- 富山県
- (株)ハセ川自動車 滑川市 TEL.076-477-7111
- (有)山一商店 小矢部市 TEL.0766-67-2721
- (有)堀川自動車商会 氷見市 TEL.0766-74-3022
- 石川県
- (有)ツツダ自動車 白山市 TEL.076-276-1593
- (株)金沢ヨコイ部品 金沢市 TEL.076-239-4510
- (株)リベア 七尾市 TEL.0767-57-2114
- (有)メタルオート北陸 小松市 TEL.0761-21-0168
- 福井県
- (有)サンシャインネットパーツ 福井市 TEL.0776-57-1236
- (株)ナカスジオオートパーツ R-FACTORY 坂井市 TEL.0776-51-3253 越前市 TEL.0778-43-5844

東海

- 長野県
- (有)小諸パーツセンター 小諸市 TEL.0267-23-7588
- (株)アートパーツ長野 松本市 TEL.0263-40-2100
- (株)ハセ川自動車長野営業所 中野市 TEL.0269-24-7124
- (株)ハセ川自動車松本営業所 松本市 TEL.0263-50-5095
- (株)テラダパーツイダ 下伊那郡 TEL.0265-49-8522
- (株)テラダパーツ諏訪営業所 諏訪郡 TEL.0266-78-3538
- 岐阜県
- KMI(株) 養老郡 TEL.0584-36-0022
- エコパーツ岐阜(株) 可児市 TEL.0574-62-2328
- (有)山一商店高山営業所 高山市 TEL.0577-35-5963
- 愛知県
- (有)名古屋解体メカイパーツ 名古屋市 TEL.052-736-4741
- (株)カーブリーコマゼン 弥富市 TEL.0567-68-4182
- (株)テラダパーツ 刈谷市 TEL.0566-22-3709
- (有)佐竹自動車部品 豊田市 TEL.0565-52-0015
- アーク(株) 北名古屋 TEL.0568-48-7577
- (有)サイトウパーツ 豊川市 TEL.0533-86-2408
- (有)川原商会 一宮市 TEL.0586-62-1757
- (有)ジーパーツ 知多郡 TEL.0569-74-1007
- (株)ワーブ 岡崎市 TEL.0564-27-7022
- (株)テラダパーツ半田営業所 半田市 TEL.0569-25-0045
- 三重県
- (有)オートパーツまるも 四日市市 TEL.059-329-3987
- 富士クラッチ工業所 四日市市 TEL.059-325-6623
- (株)マークコーポレーション 鈴鹿市 TEL.059-371-6330

関西

- 滋賀県
- (株)カンザキ 東近江市 TEL.0748-22-1389

- 京都府
- (株)エコパーツ京都 八幡市 TEL.075-983-9991
- (株)ラ・テール 京都市 TEL.075-681-3431
- (株)金子商会 舞鶴市 TEL.0773-82-0130
- 大阪府
- 吉村エコパーツ 羽曳野市 TEL.072-958-3454
- (株)多田自動車商会大阪営業所 大阪市 TEL.06-6682-8861
- (株)桜井 大阪支店 大阪市 TEL.06-6551-7777
- 兵庫県
- (株)多田自動車商会 三木市 TEL.0794-83-0162
- (株)堀尾自動車部品 姫路市 TEL.079-298-4650
- (株)桜井 尼崎市 TEL.06-6414-2222
- 和歌山県
- (株)草山パーツ 和歌山市 TEL.073-477-0532
- (株)紀南パーツ 日高郡 TEL.0739-84-2222

中四国

- 岡山県
- クレストパーツ(株)中村解体 倉敷市 TEL.086-446-2041
- (株)桃太郎部品 岡山市 TEL.086-244-1100
- 岡崎車輛部品(株) 瀬戸内市 TEL.0869-66-8511
- ウエイパーツ(有)和気商店 岡山市 TEL.086-243-6059
- 広島県
- (株)福山セコ 福山市 TEL.084-953-3201
- エコテック(株) 広島市 TEL.082-832-0345
- (株)エビス 安芸郡 TEL.082-884-1111
- エコテック(株) 広島北支店 山県郡 TEL.0826-72-0333
- 山口県
- (株)オートパーツ幸城 宇部市 TEL.0836-44-2412
- 鳥取県
- (有)東和 東伯郡 TEL.0858-52-2998
- (有)西川商会 鳥取市 TEL.0857-28-9011
- 島根県
- (有)山陰UP販売 安来市 TEL.0854-23-2466
- (株)山陰エコ・リサイクル 松江市 TEL.0852-72-9301
- 島根オートリサイクルセンター 出雲市 TEL.0853-25-9000
- 香川県
- (株)佐伯商会 高松市 TEL.087-840-3133
- 愛媛県
- (有)オートパーツ新居浜 新居浜市 TEL.0897-67-1577
- (株)予洲商事 今治市 TEL.0898-32-0384
- 徳島県
- 徳島オートパーツ(有) 板野郡 TEL.088-672-7773
- (有)青木興業 小松島市 TEL.0885-32-1875
- 高知県
- (有)みうら 高知市 TEL.088-833-2072
- (有)園東商店 四万十市 TEL.0880-35-6181

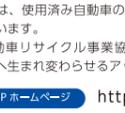
九州

- 福岡県
- (株)グッバー福岡 朝倉郡 TEL.0946-23-8093
- (有)イノクチ 筑後市 TEL.0942-53-7617
- (株)エイ・ティ・エム 京都市 TEL.093-435-2082
- 大成自動車(有) 粕屋郡 TEL.092-623-7000
- WARC西日本オートリサイクル(株) 北九州市 TEL.093-752-3270
- (有)オートリサイクルナカシマ福岡 筑紫野市 TEL.092-926-6008
- 長崎県
- (株)パーツライン 佐世保市 TEL.0956-33-1532
- (株)アール・トーヨー 長崎市 TEL.095-884-2781
- 大分県
- (株)オートリサイクルナカシマ 日田市 TEL.0973-23-0327
- オートパルス ニホウ 宇佐市 TEL.0978-34-0034
- 熊本県
- (株)パーツランド東部 合志市 TEL.096-248-2333
- (株)オートパーツ伊地知熊本営業所 熊本市 TEL.096-364-0238
- (有)まこと商会 八代市 TEL.0965-37-1371
- 宮崎県
- (有)ユーピー宮崎 北諸県郡 TEL.0986-52-7054
- 鹿児島県
- (株)オートパーツ伊地知 鹿児島市 TEL.099-267-0468
- (有)タバタ商会 鹿屋市 TEL.0994-43-2068



自動車リサイクルに貢献する全国ネットワーク

NGP SUSTAINABILITY REPORT 2024



令和3年度 気候変動アクション 環境大臣表彰



このレポートは、使用済み自動車の中から回収した取扱説明書をリサイクルした紙を使用しています。 NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合では通常廃棄されるようなものから価値あるものへ生まれ変わらせるアップサイクルに取り組んでいます。



詳しくは NGP ホームページ <https://www.ngp.gr.jp/upcycle/>

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合 株式会社NGP 〒108-0075 東京都港区港南2-12-32 サウスポート品川4F TEL : 03-6705-1208 FAX : 03-6705-1209 <https://www.ngp.gr.jp>



FSC®森林認証紙、ノンVOCインキ(石油系溶剤0%)を使用し、再生可能エネルギー100%で印刷しています。





Index

トップメッセージ	3
NGP が目指すサーキュラーエコノミー	4
SDGs 宣言と 2030 年の目標	6
目標に対しての2024 年度活動報告 (2023 年9月 - 2024 年8月)	8
2024 年度の活動報告	14
沿革	26
組合概要	27

トップメッセージ

昨年アラブ首長国連邦(UAE) のドバイで開催された COP28では、パリ協定の 1.5°C目標(2030年までの気温上昇に関する長期目標) に対する進捗状況を世界全体で評価する「グローバル・ストックテイク(GST)」に関する初めての決定が採択され、目標達成のために緊急的な行動の必要性が改めて確認されるとともに、化石燃料から脱却し、2030年までに再生可能エネルギー発電容量を3倍、省エネ改善率を2倍にすることなどが盛り込まれました。

このように、激しさを増す気候変動問題解決の鍵を握るカーボンニュートラル実現のためには、脱化石燃料、再生可能エネルギー促進、電化といった製品のライフサイクル全体での考え方の転換が重要です。

また、国土が狭く資源の乏しい日本では、資源の枯渇や増え続ける廃棄物による埋立処分場のひっ迫は特に深刻な問題であり、大量生産・大量消費・大量廃棄の一方通行型のリニアエコノミー(直線型経済) から、廃棄物を生み出さず、製品・資源を高い価値を保ったまま循環させるサーキュラーエコノミー(循環型経済) への転換が不可欠です。

EUでは、ELV(使用済み自動車) の処理・リサイクル方針を定めた「ELV指令」について、ELV中のプラスチックの30%をリサイクルすることや、新車生産に必要なプラスチックの25%以上を再生プラスチック(うち25%をELV由来) とすることなどを盛り込んだ改正案が審議されています。

日本では、2023年3月に経済産業省が公表した「成長志向型の資源自律型経済戦略」においてサーキュラーエコノミーへの転換を積極的に進める方針が打ち出され、自動車リサイクル業界でも、経済産業省主導でプラスチック等の資源回収インセンティブ制度や、製造業とリサイクル業の連携によるプラスチックの再生利用促進のための産官学コンソーシアムの立上げなどが進められています。

国内の自動車メーカーに目を向けると、ホンダでは、2026年以降に発売する電気自動車(EV) などのプラスチック部品について、部品ごとに単一素材で作ることで分別の手間をなくし、再利用しやすくするための検討が進められています。

NGPは、これまでも使用済み自動車の部品のリユースに積極的に取り組むとともに、リユースできない部分も精緻な解体により、資源として国内で循環させることに重点を置いてまいりました。

ただし、サーキュラーエコノミーの実現のためには、これまで廃棄物として見過ごしてきたものを見直して循環させ、廃棄物の発生を可能な限り抑制するとともに、生産・販売を担う「動脈産業」との連携を強化し、自動車業界全体で取り組んでいくことが必要不可欠であると考えております。

持続可能な社会の実現とは、豊かで美しい地球を子どもたちに引き継いでいくことにほかならず、これまでの取り組みをさらに深化させるとともに、NGP 組合員やステークホルダーの皆さまはもとより、動脈産業をも巻き込みながら活動の幅を広げ、自動車リサイクルを通じて、地球の未来に対して果たすべき社会的な責任を全うすることが私たちの使命であると考えております。

今後もリユース部品の利用拡大に取り組んで CO₂の排出削減に大きく貢献するとともに、廃棄物の発生抑制や素材の再資源化の推進、環境保全の大切さを子どもたちに伝える活動に取り組み、引き続きカーボンニュートラル、サーキュラーエコノミーの実現に貢献し、持続可能な社会を次世代に引き継いでまいります。

2024 年 9 月

NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合
理事長 小林信夫

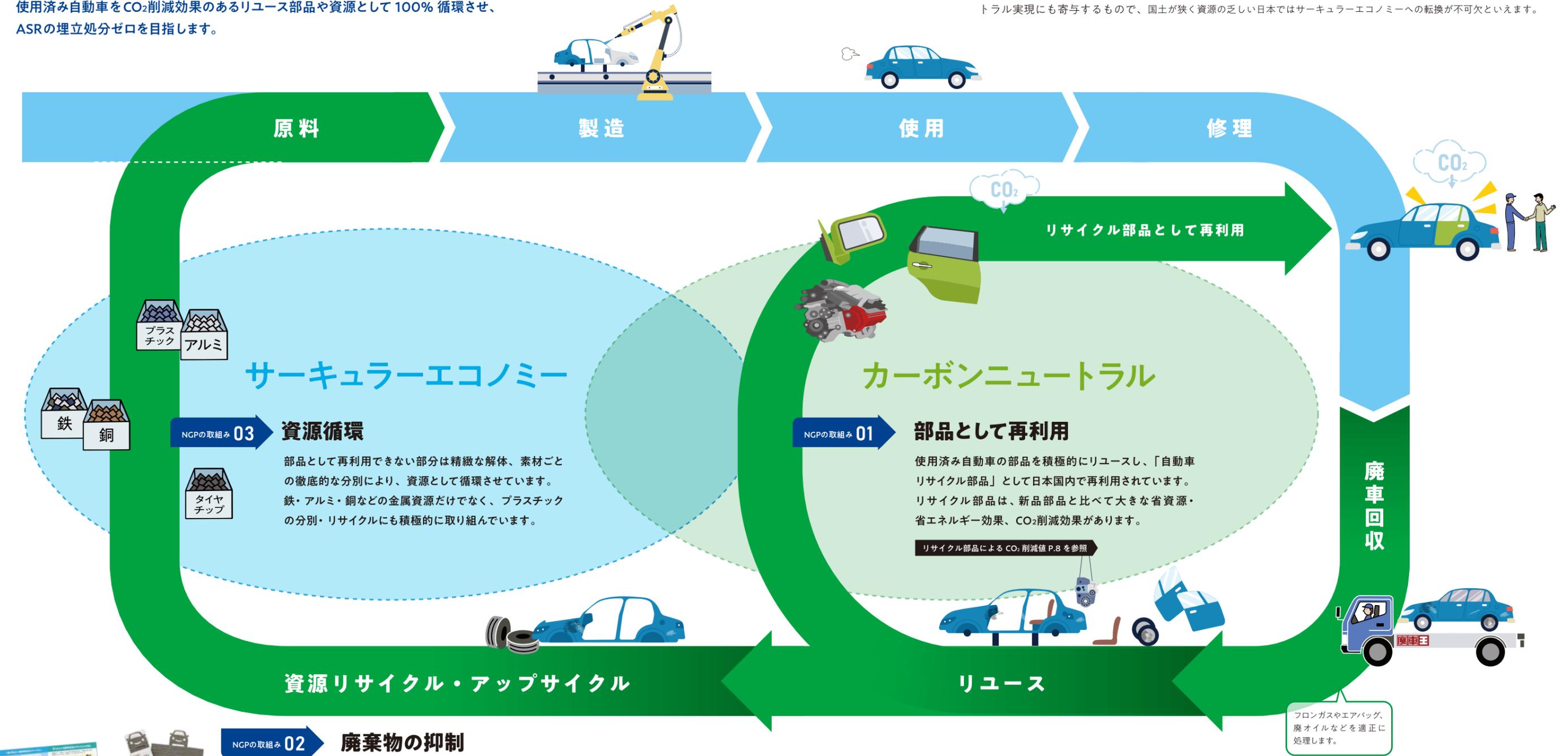


廃棄物の出ない無限リサイクル

使用済み自動車をCO₂削減効果のあるリユース部品や資源として100%循環させ、ASRの埋立処分ゼロを目指します。

サーキュラーエコノミーとは？

サーキュラーエコノミー（循環型経済）とは、従来の3Rの取組みに加え、既存の資源を有効活用して付加価値を生み出し、廃棄物の発生を最小限化することで、資源利用に伴う環境負荷を低減するための経済システムです。可能な限り廃棄物を生み出さず、限られた資源を循環させながら経済成長につなげていくとともに、温室効果ガス削減効果があり、カーボンニュートラル実現にも寄与するもので、国土が狭く資源の乏しい日本ではサーキュラーエコノミーへの転換が不可欠といえます。



サーキュラーエコノミー

NGPの取組み 03 資源循環

部品として再利用できない部分は精緻な解体、素材ごとの徹底的な分別により、資源として循環させています。鉄・アルミ・銅などの金属資源だけでなく、プラスチックの分別・リサイクルにも積極的に取り組んでいます。

NGPの取組み 01 部品として再利用

使用済み自動車の部品を積極的にリユースし、「自動車リサイクル部品」として日本国内で再利用されています。リサイクル部品は、新品部品と比べて大きな省資源・省エネルギー効果、CO₂削減効果があります。

リサイクル部品によるCO₂削減値 P.8を参照

NGPの取組み 02 廃棄物の抑制

単なる資源循環にとどまらず、廃棄物(ASR)の抑制にも取り組んでいます。取組みの1つとして、これまでASRとして処理されていた取扱説明書をアップサイクル。子どもたちが自動車リサイクルについて学べる「環境教育ノート」や消臭・除湿機能のあるノベルティ「廃車王 炭エコクック」を製作しています。また、アウトドアストアとのコラボにより、使用済み自動車のエアバッグ・シートベルトをアップサイクルし、薪バッグを製作しています。

アップサイクルの詳細は P.16を参照

サーキュラーエコノミーの実現には様々な企業・団体との連携が不可欠なことから、以下のパートナーシップ等に参加しています。



人と車と地球にやさしく
自動車リサイクル事業を通して、
子どもたちと地球の未来を考えます。

2030年 NGP の目標

使用済み自動車約1,000万台から2,000万点以上の自動車リユース部品の生産と適正なリサイクル処理を実施し、50万トン以上のCO₂削減に貢献します。

香川県豊島の産業廃棄物（自動車破砕くず等）不法投棄により失われた自然を取り戻す環境再生活動を行い、環境保全と3Rの大切さを後世に伝える活動を行います。

私たちは自動車リサイクル事業でSDGsの達成に貢献しています。



12 つくる責任 つかう責任 NGP SDGs MODEL
使用済み自動車から始まる「持続可能な社会の実現」



背景

豊島 TESHIMA



香川県瀬戸内海にある「豊かな自然に恵まれた島」

1990年、瀬戸内海にある香川県の豊島(てしま)で、国内最大級といわれる産業廃棄物の不法投棄事件が発覚。不法投棄は1970年代後半から15年以上にわたり、「豊かな自然に恵まれた島」は「ゴミの島」と呼ばれるようになりました。不法投棄された廃棄物の多くが使用済み自動車の破砕くず(シュレッダーダスト)ということもあり、NGPにとって切り離せないものでした。

<発覚後の流れ>

- 2003年 廃棄物の撤去開始
- 2017年3月 撤去完了、廃棄物の量は91万トン以上、処理費総額は700億円以上
- 2018年1月 取り残しの廃棄物610トン発見
- 2019年7月 再調査と撤去完了
- 2021年度 地下水の水質が「排水基準^{※1}」に到達
- 2022年3月 地下水が瀬戸内海に流れ出すのを防ぐための遮水壁の撤去完了
- 2023年3月 産廃特措法期限到来、整地完了

現在、自然の浄化力による「環境基準^{※2}」への到達を目指しています。2023年3月31日「特定産業廃棄物に起因する支障の除去等に関する特別措置法」の期限が到来し、香川県の産廃処理事業が終了。しかし、地下水の「環境基準^{※2}」の到達にはさらに20年から60年以上かかるかと推計されています。

「環境破壊の再生には長い年月がかかり、その代償は後世が払うということ」

豊島問題は経済成長のもと、大量生産、大量消費、大量廃棄という効率を求められる社会の中、都会で発生した大量のゴミが小さな島に押しつけられるという社会問題でした。私たちの地球は資源の枯渇、増加する廃棄物、温暖化問題など深刻な状況にあります。更なるリサイクル化を徹底し、限りある資源の有効利用を進め、ごみの排出量を抑制することで環境負荷を低減し、持続可能な社会の実現を目指す必要があります。



NGP日本自動車リサイクル事業協同組合では、使用済み自動車の適正処理を高度化し、その使用済み自動車から有効に活用する「リサイクル部品」を社会に提供して、求められる持続可能な社会の実現を果たすとともに、人々の豊かな暮らしと、子どもたちの未来のために、「人」と「車」と「地球」にやさしい組織活動を推進してまいります。

※1「排水基準」：工場排水を川や海に流してもよいとされる基準
※2「環境基準」：人の健康を保護し、生活環境を保全するうえで維持することが望ましいとされる基準

※自動車リサイクル部品産学共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の90部品(左右ある部品を含む115部品)と、リビルト部品の3部品を対象に算出した数値です。
NGPの産学共同研究の成果については専用ホームページ「NGPエコプロジェクト」で公開しています。



GOAL

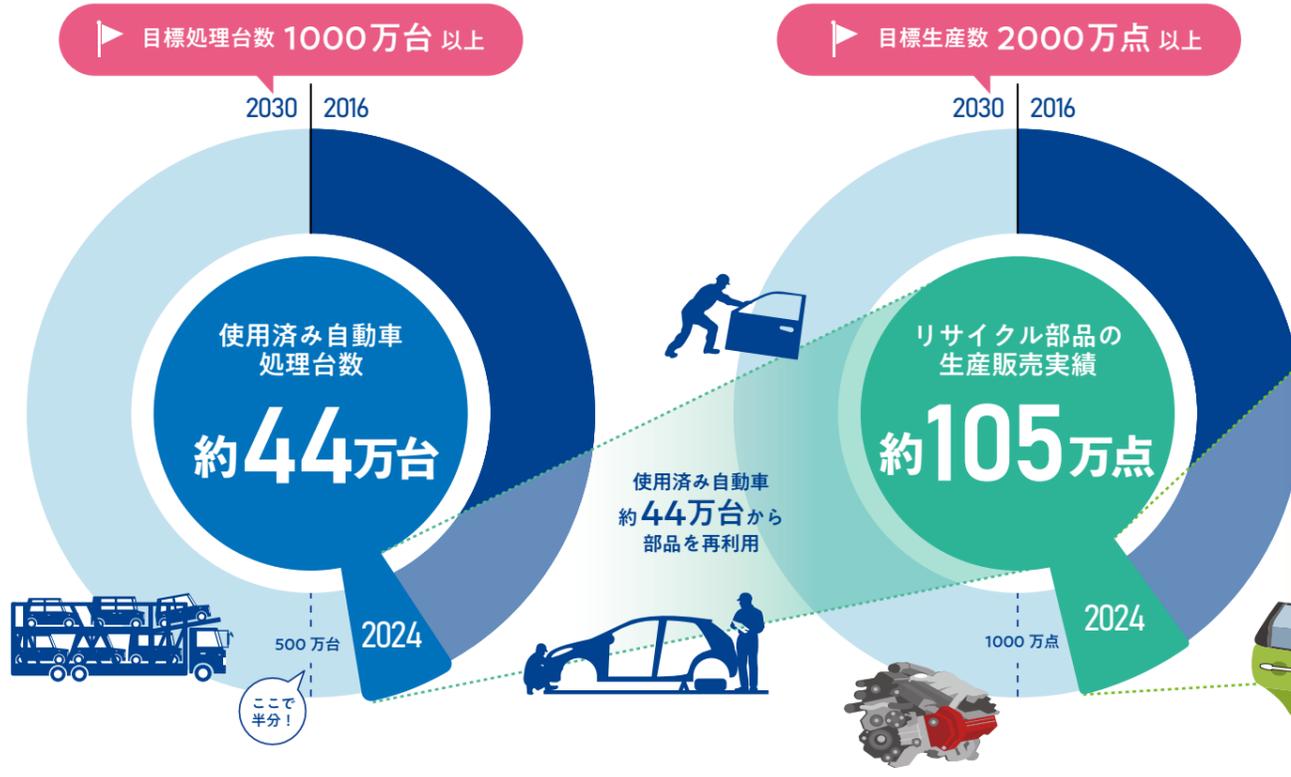
2030年までの目標

使用済み自動車約1000万台から2000万台以上の自動車リユース部品と適正なリサイクル処理を実施し、50万トン以上のCO₂削減に貢献します。

4 質の高い教育をみんなに

12 つくる責任 つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を



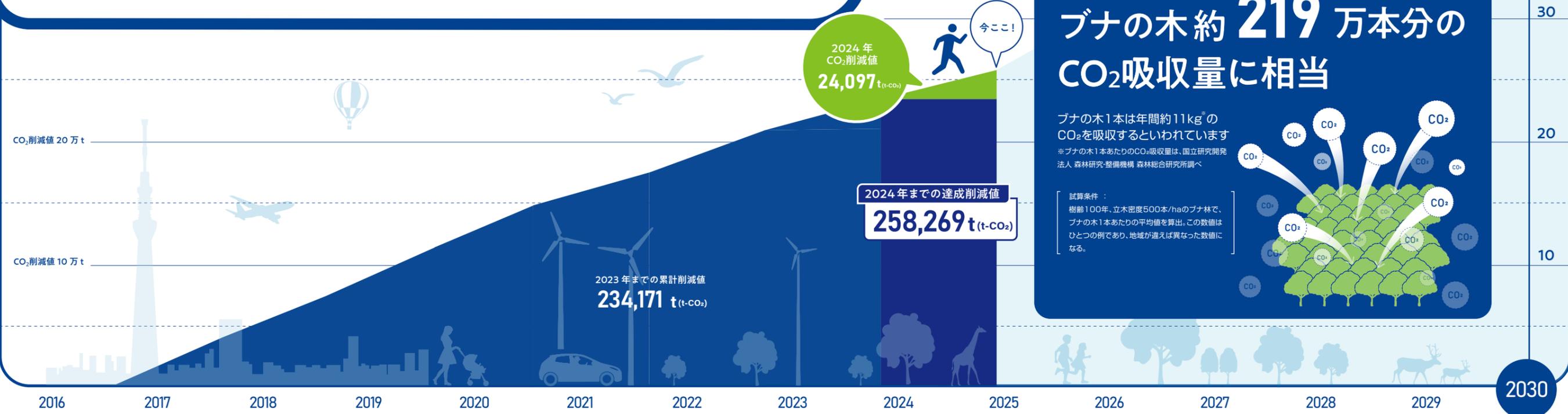
リサイクル部品を利用することでCO₂削減

**2024年
CO₂削減値
24,097t (t-CO₂)**

▶ 目標CO₂削減値 50万t以上

GOAL

あとわずか!



ブナの木約219万本分のCO₂吸収量に相当

ブナの木1本は年間約11kg[※]のCO₂を吸収するといわれています

※ブナの木1本あたりのCO₂吸収量は、国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所調べ

試算条件：
樹齢100年、立木密度500本/haのブナ林で、ブナの木1本あたりの平均値を算出。この数値はひとつの例であり、地域が違えば異なった数値になる。

GOAL

2030年までの目標

香川県豊島の産業廃棄物（自動車破砕くず等）不法投棄により失われた自然を取り戻す環境再生活動を行い、環境保全と3Rの大切さを後世に伝える活動を行います。



NGPの目指すゴール

- ▶ 国立公園にふさわしい姿へ原状回復
- ▶ 豊島事件のようなことが二度と繰り返されないよう、環境教育の場として活用
- ▶ 適切な方法で管理し、持続可能な形で次世代に引き継ぐ

2030年までに不法投棄現場すべてが、国立公園にふさわしい姿にもどることを目指して活動していきます。



豊島再生プロジェクトに関する活動の詳細はこちら
<https://www.ngp.gr.jp/sdgs/teshima/>



NGP海岸漂着ゴミ回収

プラスチックによる海洋汚染

- ① 水ヶ浦 (みずがうら)
- ② 横引ヶ浜 (よこびきがはま)
- ③ 柚の浜 (ゆのはま)

国立公園原状回復活動

- ① 柚の浜 砂浜復元活動
- ② NGP オリーブの木 植樹活動
- ③ 岡山大学連携による植生回復活動
- ④ 岡山大学・豊島小中学校とのツツジ植樹活動
- ⑤ 荒廃地整備

環境教育の場
 ～豊島のこころ資料館～
 外壁補修

不法投棄現場見学

毎回、初参加の参加者は、豊島での活動の意義を知ることを中心に「産業廃棄物不法投棄現場」や「豊島のこころ資料館」の見学を行っています。実際に現場で生の情報に触れることで、豊島事件の重大さ・深刻さはもちろんのこと、自動車のリサイクル・適正処理の大切さや環境の再生には長い年月がかかることを肌で感じています。

2024年5月30日

初参加の7名に対して、「豊島事件」と活動の意義について正しく理解してもらうため、見学会を実施しました。不法投棄を起こした業者の元事務所を活用した「豊島のこころ資料館」では、廃棄物対策豊島住民会議の安岐事務局長より「豊島事件」の歴史や、当時の悲惨な状況、住民が一丸となって戦ったことなどを、当時の写真や産廃(シュレッダーダスト)の剥ぎ取りを実際に見て、聞き「豊島事件」の歴史と不法投棄現場の現況について学びました。その後、不法投棄現場を見学しました。当時の廃棄量の多さを想像させられるだけでなく、豊島の美しい自然は奪われたままであることを実感しました。



国立公園原状回復活動（荒廃地の整備）

森の生態系や美しい砂浜を回復し、不法投棄がされる前の、豊かな自然に恵まれた国立公園としてふさわしい姿を取り戻すために、活動しています。

2024年5月30・31日

2023年4月に活動した場所で、前回荒廃地の整備をしたことで松の木が育ち始めていました。この松の木を「柚の浜」の海岸とオリーブ畑の間に移植して防砂林として活用する話をオリーブ基金事務局より相談を受けており、その準備として成長途中の松の木の周りの雑草を除去しました。厳しい暑さの中ではありましたが、将来的にはオリーブの育成にも関わる重要な作業となりました。



瀬戸内オリーブ基金への寄付活動

基金への寄付・募金活動と香川県豊島の環境保全・再生活動を行っています。

廃車1台ごとに、また、リサイクル部品を使用することで得られるCO2削減量に応じて寄付金を「瀬戸内オリーブ基金」へ寄付しています。



2023年10月23日 寄付金目録贈呈

NGP 小林信夫理事長、サステナブル委員会伊地知志郎担当理事から、NPO 法人瀬戸内オリーブ基金の岩城裕理理事長に寄付金目録を贈呈しました。



(左から)
 サステナブル委員会 岸本恭秀委員長
 サステナブル委員会 伊地知志郎担当理事
 廃棄物対策豊島住民会議 安岐正三事務局長
 瀬戸内オリーブ基金 岩城裕理理事長
 NGP 協同組合 小林信夫理事長

国立公園原状回復活動（岡山大学との植生回復活動）

●岡山大学の植生回復活動について

産業廃棄物不法投棄の影響で荒れた土地に外来植物が繁殖し、変わってしまった豊島の植生を回復するため、2015年1月に豊島住民会議と瀬戸内オリーブ基金が、荒廃地緑化や環境緑化を専門とする同大学の嶋教授に相談をしたことがきっかけで、2015年4月から植生回復の研究を開始しました。自然の回復力で植生が戻るのが理想ではありますが、豊島に多く自生していたツツジ科の「コバノミツバツツジ」などは人が補助しないと育ちにくいことから、岡山大学や豊島の小中学校で苗木を育ててから植樹しています。不法投棄現場は、見た目は緑が回復しているように見えても、本来そこに自生していた多様性の豊かさは回復していません。

NGPは不法投棄現場跡地を元の美しい豊かな状態に戻すために、2022年から岡山大学と連携し、植生回復活動を行っています。



2024 年 2 月 1 日・2 日

岡山大学が豊島の植生回復の研究をしている区画で、豊島に元々自生している植物の種子を研究区画に撒き、成長過程を観察していく作業を共同で行いました。種を撒くと言っても、売られている種を撒くのではなく、豊島の植生が根付いている土地から種子の混ざった土を運び、研究区画に撒く「表土撒き出し法」という手法で行われるため、初日は下準備として、研究区画の雑草を刈る班と、土を採取する場所の落ち葉や枝を取り除く作業をする班とに分かれて行われました。



二日目は、山の斜面から土を研究区画に運び、撒くという作業を全員で行いました。表面から 5 センチくらいの土を集めて運ぶという作業で、体力を使う作業ではありましたが、元々岡山大学側の人の手が不足していた背景もあり今回の作業は産学共同だからこそ実現したと感ずることができる作業となりました。



嶋教授は、「山の斜面には、条件が良くなるまで発芽しない休眠している種子があります。それを研究区画に植えます。全部芽が出なくてもよいのです。その環境に合ったものだけ芽が出ればよいのです。」と語っており、以前より本研究の成果が豊島の産業廃棄物不法投棄現場の植生回復の見本になれば、との想いで活動を続けております。



2024 年 5 月 30 日・31 日

岡山大学が豊島の植生回復の研究をしている区画で豊島に元々自生している植物の種子を研究区画に撒き、成長過程を観察していく作業を共同で行いました。今回の作業は、前回作業した場所の植生を促すためと、作業範囲を広げるために枯れた松の木を除去する作業と雑草を刈る作業を行いました。範囲を広げた場所には前回同様に「表土撒き出し法」を行い、1年目に種子を撒いた場所、2年目、3年目に種子を撒いた場所と、植生回復の経過が分かるようにしていく予定です。



また、研究区画内に植えたコバノミツバツツジに「たい肥」を撒く作業も行いました。コバノミツバツツジは豊島に自生するツツジですが、非常に弱いため岡山大学で植生回復の一環として、コバノミツバツツジの種から苗木へと育成し、その苗木を1年間、地元の小・中学校に預けて毎日水やりをしてもらい、植樹する活動を行っています。



産廃処分地展望台の整備

産廃処分地の近くには現場を見下ろせる展望台があり、見学コースにもなっていることから多くの方が訪れます。今回の作業は、展望台からの視界を妨げている雑草の除去と、展望台に上るまでの階段横の整備を行いました。階段横については、今後も整備を続け豊島に自生している植物を植えることを予定しています。



嶋教授は、「ここは、小学生をはじめ多くの見学者が通ります。階段の横には豊島に自生していた植物、コバノミツバツツジなども一緒に植えて、元々はこれだけの植物があったことを示したいと思っています。言葉で「豊かな自然がここにはあった」と言っても、今はどこにもないのですから。」と語っており、以前より本研究の成果が豊島の産業廃棄物不法投棄現場の植生回復の見本になれば、との想いで活動を続けています。

2023



2023.9

東京都地球温暖化防止活動推進センターと「チャレンジ ZEV2030 協定」を締結



2023.10

第 19 回通常総会を東京にて開催



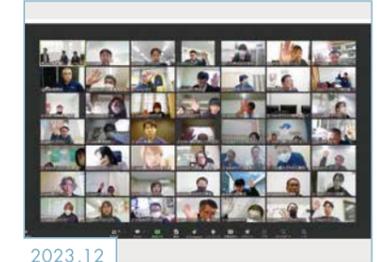
2023.12

「エコプロ 2023」に出展



2023.12

交通遺児育英会に寄付



2023.12

「廃車王」、業界 No.1 のサービス提供のため研修会実施

2024



2024.1

J-GBF「ネイチャーポジティブ宣言ポータルサイト」に登録



2024.2・5

豊島環境保全・再生活動実施



2024.3

「NIKKEI 脱炭素アワード 2023」にて「奨励賞」を受賞



2024.3

NGP パーツ王、「ヤフオク！ベストアワード 2023」にて「自動車パーツ部門賞」を受賞



2024.3

JICA 国別研修「インド中級経営幹部研修」参加者に自動車リサイクル工場見学会実施



2024.5

廃車王、環境を意識した30秒テレビCM実施



2024.5

経済産業省「サーキュラーパートナーズ」に参画



2024.6

中学生の SDGs 企業訪問を受入れ

2023.10 ~ 2024.8

組合員向け研修会の開催



- 10月 第32回基礎研修会
- 11月 第18回初級生産管理者・フロントマン研修会
- 5月 第14回自動車技術基礎研修会
- 6月 第33回基礎研修会
中級生産管理者・フロントマン研修会
自動車技術研修会
- 第23回ハイブリッド・次世代技術セミナー
- 7月 第19回初級生産管理者・フロントマン研修会
第3回スキャンツールセミナー（基礎・応用編）
- 8月 第35回経営者研修会



NGP 創設・発展に
寄与された方々
のお別れ会を開催しました



2023 年 10 月



(株)多田自動車商会 代表取締役会長 多田幸四郎氏
(株)オートリサイクルナカシマ 会長 中島正則氏

2024 年 5 月



NGP 名誉顧問 大石一彦氏



2024.7~8

「サーキュラーエコノミーキャンペーン『廃車とリサイクル部品で日本の資源を守る!』」開催

NGP アップサイクルプロジェクト ～廃棄物から価値あるものへ～

廃車から排出される廃棄物を削減するために、これらを回収・有効活用し、価値あるものに生まれ変わらせる取組みを行っています。



NGP UPCYCLE PROJECT 第三弾

アウトドアストアとのコラボにより、エアバッグ・シートベルトを回収しアップサイクルした薪バッグを製作

エアバッグとシートベルトは非常に強い生地なので、アウトドア用品に使用できるのではないかと考え、全国のアウトドア系のブランドやショップに対し、コラボレーションによるアップサイクルの取組みを打診したところ、アウトドアライフストア「WILD-1(ワイルドワン)」を運営する株式会社カンセキ様よりご賛同をいただくことができました。

多くのキャンパーからの支持を集める弊社より、昨今のキャンプに欠かせない焚火に使用する薪を運ぶためのバッグを製作してはどうかとの提案がありました。それを受けて同社とのコラボレーションにより、エアバッグとシートベルトをアップサイクルした薪バッグを製作しました。



NGP UPCYCLE PROJECT 第一弾

廃棄物となっていた取扱説明書を資源として有効活用し、環境教育ノートを製作

NGPでは、SDGsの目標にも掲げているとおり、「3Rの大切さを後世に伝える活動」として、子どもたちへの環境教育に力を入れています。廃車の取扱説明書をアップサイクルして、子どもたちが3Rの大切さを学べる「環境教育ノート」を製作しています。



NGP UPCYCLE PROJECT 第二弾

2つの廃棄物を掛け合わせて、消臭・除湿機能がある「廃車王 炭エコクック」を製作

廃車の取扱説明書と梅の種を炭化させた「梅炭」を混ぜて、2つの廃棄物を掛け合わせてアップサイクルし、消臭・除湿機能のあるノベルティ「廃車王炭エコクック」を製作しています。

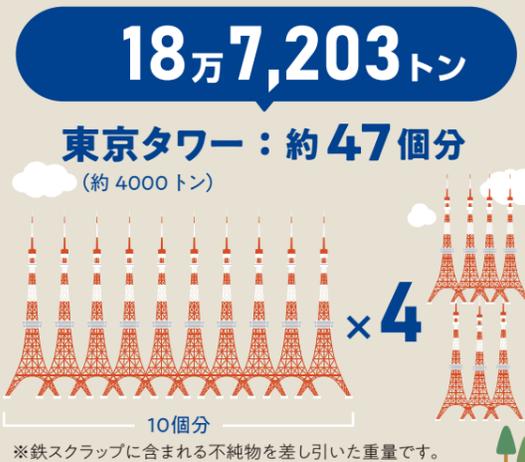


組合の資源回収実績

自動車には、鉄をはじめとする様々な素材が使用されています。NGPでは、使用済み自動車から再利用可能な部品を取り外した後、部品として再利用できない部分は、素材ごとに徹底的に分別して最大限のリサイクルを行い、資源循環によって持続可能な社会に貢献しています。



鉄の回収実績



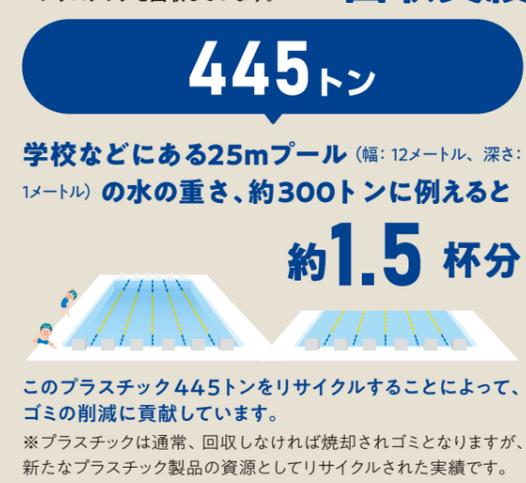
銅の回収実績



アルミの回収実績



プラスチックの回収実績



子どもたちへの教育支援



日本最大級の環境展示会『エコプロ2023』に出展

2023年12月6日～8日に開催された「エコプロ2023」に、瀬戸内オリーブ基金と共同で出展しました。引き取った車の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の実践により「廃車王は環境にやさしい」ということを楽しく学んでもらえるようパネル展示やクイズを実施し、今年もたくさんの方に来場いただきました。ブースは、アーチを多用して回遊することでひとつひとつの単元を学べるようになっており、自動車リユース部品の環境貢献度や自

動車リサイクルの大切さを紹介することができました。クイズの参加者には、廃車の取扱説明書をアップサイクルして制作した「廃車王炭エコクック」、小中高校生には同様にアップサイクルした「環境教育ノート」をプレゼント。恒例のエンブレムコーナーでは、募金にご協力いただいた方に自動車エンブレムをプレゼントし、集まった募金は、豊島の環境保全・再生活動に役立てていただきたいと瀬戸内オリーブ基金に寄付させていただきました。



中学生のSDGs企業訪問を受入れ



修学旅行におけるSDGsをテーマとした企業訪問学習で、中学3年生4名を受け入れました。事業内容やSDGsへの取組みを動画で紹介し、廃車の部品の実物を見ながら、解体や素材ごとの分別について学んでいただきました。また、香川県豊島の環境保全・再生活動やNGPアップサイクルプロジェクトなどの具体的な取り組みも紹介し、自動車リサイクルの流れ、資源リサイクルの大切さを伝えることができました。



豊田市立藤岡南中学校(愛知県豊田市)



組合員のSDGs取組み状況と促進



SDGsの達成には、1団体の取組みだけでなく、取組みを拡大させていくことが不可欠なため、全国のNGP組合員1社1社にもSDGsの輪を広げています。

SDGs宣言会社一覧

(株)辻商会 (有)まるふく八田商会 (株)ピークル (株)ケーエー車輛 (有)オカダオートパーツ 鋼路オートリサイクル(株) (株)ポールド (株)ライズコーポレーション (有)むつパーツ (株)ナプロアース	(有)榎並商会 (株)共伸商会 (株)茨城オートパーツセンター (株)拓殖商会 (有)しのぶやみどり工房 (株)3R (株)CRS 埼玉 (株)マルトシ青木 (株)大橋商店 三協自動車(株)	(株)杉之間 オレンジパーツ平成 (株)アンドカーパーツ (株)金沢ヨコイ部品 (有)山一商店 (有)名古屋解体メイカイパーツ (株)カグリーコマゼン KMI(株) (株)テラダパーツ エコパーツ岐阜(株)	(有)佐竹自動車部品 アーク(株) (有)小諸パーツセンター (有)サイトウパーツ (有)オートパーツまるも (有)川原商会 (株)アートパーツ長野 (有)ジーパーツ (株)ワーブ (有)富士クラッチ工業所	(株)マーク・コーポレーション (株)吉村解体(吉村エコパーツ) (株)多田自動車商会 (株)福山セコ クレストパーツ(株)中村解体 (有)山陰UP販売 (株)佐伯商会 (株)桃太郎部品 (株)オートパーツ幸城 (有)東和 (株)エビス	ウエイクパーツ(有)和気商店 (有)西川商会 (株)オートリサイクルナカシマ (株)パーツライン (株)オートパーツ伊地知 (有)ユービー宮崎 (株)アール・トーヨー (有)イノクチ (株)パーツランド東部 WARC西日本オートリサイクル(株) (有)オートリサイクルナカシマ福岡
--	--	--	--	--	--

自動車リサイクル工場見学会

JARCSGDs プログラム 近畿大学

2023年11月17日 (株)多田自動車商会(兵庫県三木市)

自動車リサイクル促進センター(JARC)が主催するSDGsプログラムに協力し、近畿大学で環境経済学を学ぶ学生15名、教員1名を対象とした工場見学会を開催しました。自動車リサイクルシステムの概要や工場における使用済み自動車の適正処理の流れなどについて説明を受けた後、実際の作業現場を見学しました。



JICA 国別研修「インド中級経営幹部研修」

2024年3月15日 (株)マーク・コーポレーション(三重県鈴鹿市)

JICA国別研修「インド中級経営幹部(PGPEX-VLM)研修」の参加者「インド工科大学・経営大学院中級経営幹部コース(PGPEX-VLM)大学院生」42名(引率教授2名を含む)が参加しました。工場見学会では、SDGsや5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)への取組みや海外展開の展望などを交えながら同社の事業概要を説明した後、実際に自動車リサイクル工程とショールームを見学し、最後に意見交換を行いました。



カーボンニュートラル・サーキュラーエコノミーを視点とした工場見学会

(株)マルトシ青木(静岡県藤枝市)

2023年11月29日 日東電工株式会社様(大阪府大阪市)

自動車に使用される両面テープ、フォーム材などのさまざまな業界で製品を提供する日東電工株式会社様が工場見学及び意見交換会を実施しました。自動車リサイクル工程がどのように行われているのか、自社製品がどのように処理・リサイクルされているかを知ることで、社会課題の解決と経済価値の創造の両立に向けて、今後の製品づくりに活かしたいとのことでした。工場見学会では、主に自動車リサイクル工程、特に素材ごとに徹底的に分別してリサイクルする工程を重点的に見学しました。



2024年6月25日 矢崎総業株式会社様(静岡県裾野市)

ワイヤーハーネス(自動車用組み電線)を取り扱っている矢崎総業株式会社様はサーキュラーエコノミーの実現に向けて課題と解決策を考えるため、自動車リサイクルの流れを見学して今後の製品開発に活かしたいとのこと、工場見学及び意見交換会を実施しました。主に自動車リサイクル工程を見学、特に解体工程でニプラと呼ばれる重機を使用して非常に細かく配線を取り出す様子や、ワイヤーハーネスを銅ナゲット製造機でナゲット加工する工程を重点的に見学しました。



NGP 産学共同研究

2013年5月より、NGP・富山県立大学・明治大学と進めている「自動車リサイクル部品産学共同研究会」は、2016年にリユース部品50部品、2017年にはリユース部品40部品のCO₂削減効果についての追加調査を実施し、研究成果としてNGPの売れ筋90部品「91.4%」のCO₂削減数値を算出しました。

2023年9月～2024年8月は、WEBでの会議を10回実施しました。



リビルト部品3部品のCO₂削減数値を算出しました。

リビルト部品3部品（スターター、オルタネーター、ACコンプレッサー）のCO₂削減効果値を算出し、NGPシステムに搭載（2024年9月6日リリース）しました。

2018年より提携リビルトメーカーである、プラスワン株式会社様（東京都練馬区）のご協力のもと、アライ技研株式会社様（埼玉県比企郡）にて、リビルト部品の生産工程の調査を複数回重ねてきましたが、リビルト部品はリユース部品と比べて生産工程が複雑で、作業の相違に影響する条件も多岐にわたり、また、工程によってCO₂排出量の大小に差があることから、回数を重ねて生産工程の調査を慎重に行ったため、分析に多くの時間を費やしました。NGPシステムからCO₂削減効果値を算出するための推定式についても、様々な角度から検討し、立式に時間を要しましたが、このほど予測式の立式に成功し、3部品のCO₂削減効果値が算出できるようになりました。



2024年度は、産学共同研究と研究成果を活用した取り組みが評価され、「NIKKEI 脱炭素アワード 2023」にて「奨励賞」を受賞しました。

日本経済新聞社が主催する「NIKKEI脱炭素アワード2023」プロジェクト部門において、「自動車リユース部品でカーボンニュートラルに貢献～CO₂削減効果の定量化と普及・啓発活動～」というテーマで「奨励賞」を受賞しました。産学共同研究において、自動車部品の網羅的なLCA*を実施し、リユース部品の環境貢献度合いを定量化して見える化した点などが評価されたものです。

2024年3月1日に贈賞式が行われました

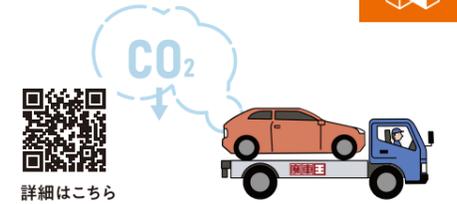


*1 LCA(ライフサイクルアセスメント)とは、部品を生産する時に発生するCO₂だけでなく、部品を作るための資源採掘から、原料生産、部品生産、使用、処理までライフサイクル(生涯)、アセスメント(評価)する手法のことです。



カーボンニュートラル・SDGs の取組み支援

NGPでは、自動車リサイクルをする中で得られる環境貢献度を利用して、損害保険会社様、自動車リース会社様、自動車販売業者様、自動車整備工場様等の自動車関連事業者様がカーボンニュートラル・SDGsに取組むことが可能となるサービスを行っています。



NGPへ使用済み自動車の提供で環境に貢献

CO₂削減見込値

資源の有効活用

提供した台数の

リユース部品の積極的な活用で環境に貢献

CO₂削減値

自動車リサイクル環境貢献書

(株)●●●オートサービス 様

貴社は NGP グループへの車両提供により、リサイクル部品の生産に伴うCO₂削減と資源の有効活用に下記のとおり貢献いたしました。

対象期間：yyyyymmdd～yyyyymmdd

- eco 対象車両台数 : 5台
- eco リサイクル部品生産に伴うCO₂削減貢献(※1) : 10点
- CO₂削減量(※2)(※3) : 312kg
- eco 資源の有効活用貢献(※4)
 - 鉄 : 12,345kg
 - 銅 : 500kg
 - アルミ : 100kg

2024年●●●●日
NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合 株式会社 NGP

自動車リサイクル部品環境貢献書

(株)●●●オートサービス 様

貴社は自動車リサイクル部品利用に伴うCO₂削減に下記のとおり貢献いたしました。

対象期間：yyyyymmdd～yyyyymmdd

- eco リサイクル部品利用に伴うCO₂削減貢献
- リサイクル部品利用点数 : 10点
- CO₂削減量(※1)(※2) : 312kg

2024年●●●●日
NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合 株式会社 NGP

SDGsへの取組みのきっかけに
具体的な数値で環境貢献度をPR

NGPグループ以外から購入したリユース部品でも算出できます。(別途情報提供の必要あり)

使用済み自動車の提供でアップサイクルに参加

環境に配慮した 製紙工場

取扱説明書 回収・保管

再生紙 (古紙100%)

再生紙を利用した製作物

チラシ・紙袋・封筒
パンフレットなど
身近なもので
環境貢献をPR

この活動をSDGsに絡めると新たな活動、目標設定が可能になります。

8 経済の持続可能な成長

11 持続可能な都市とコミュニティ

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

12 つるむくいの責任

組合員向け研修会の開催

第32・33回基礎研修会

開催日 第32回 | 2023年10月3～5日
 開催日 第33回 | 2024年6月11～13日
 開催場所 Bum B 東京スポーツ文化館 (東京都江東区)

三大信条をはじめとしたNGPの基本理念をしっかりと体得するための研修会であり、研修生同士が協力し合って様々な試験を乗り越え、ビジネスマンに必要な能力を身に付けました。



第18・19回初級生産管理者・フロントマン研修会

開催日 第18回 | 2023年11月14～16日
 開催日 第19回 | 2024年7月2～4日
 開催場所 Bum B 東京スポーツ文化館 (東京都江東区)

研修では、業務における心構えやNGPシステムの活用方法などについて学ぶとともに、2日目には小林信夫理事長からNGPの理念やこれまでの活動に関する講話を受けました。



第35回中級生産管理者・フロントマン研修会

開催日 2024年6月17～19日
 開催場所 (株) あいおいニッセイ同和自動車研究所 東富士センター (静岡県裾野市)



基礎研修会及び初級研修会を修了した、NGPの中核となる実務者向けの研修会であり、部門ごとの専門講義のほか、管理者としての役割やリーダーシップについて学ぶ共通講義を受講しました。

第35回経営者研修会

開催日 2024年8月28～8月30日
 開催場所 Bum B 東京スポーツ文化館 (東京都江東区)

NGPの歴史や各委員会の取り組み、NGP三大信条の意義、NGPグループの一員として果たすべき役割や経営者としての行動と心構えを学びました。

第3回スキャンツールセミナー (基礎・応用編)

開催日 2024年7月9・10日
 開催場所 (株) あいおいニッセイ同和自動車研究所 東富士センター (静岡県裾野市)

スキャンツールの歴史や、基礎について学び、なぜスキャンツールを使う必要があるのかについて理解しました。



第14回自動車技術基礎研修会

開催日 2024年5月20～22日
 開催場所 (株) あいおいニッセイ同和自動車研究所 東富士センター (静岡県裾野市)

自動車の構造やパネル钣金及び補修塗装などの修理技法を学ぶための研修会で、実習ではエンジンなどの部品を分解しながら、故障時の不具合現象についても理解を深めました。



自動車技術研修会

開催日 2024年6月19～21日
 開催場所 (株) あいおいニッセイ同和自動車研究所 東富士センター (静岡県裾野市)

実車を用いた研修会で、最新のハイブリッドシステム等の構造について学びました。



第23回ハイブリッド・次世代技術セミナー

開催日 2024年6月25・26日
 開催場所 (株) あいおいニッセイ同和自動車研究所 東富士センター (静岡県裾野市)

ハイブリッドシステムの種類や構造を学ぶとともに、スキャンツールを用いたバッテリーの点検やバッテリー脱着などの実習を通じて、電動車に対する知識を深めました。



被災地復興支援活動

NGPは地震や豪雨による洪水や土砂などで被害を受けた車両の引き上げ、処理活動などを通して被災地支援を行っています。東日本大震災をはじめ、様々な震災において車両の引き上げ作業はその後の復興の手助けとなります。NGPでは、今後も積極的に被災地支援活動を行ってまいります。



令和6年能登半島地震義援金の寄付

2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震の被害の甚大さに鑑み、被災された皆様の救済及び被災地の復旧に役立てていただくため、日本赤十字社を通じて、令和6年能登半島地震災害義援金(石川県、富山県、新潟県、福井県)として100万円を寄付させていただきました。

令和5年台風13号による暴風雨等(千葉県・茨城県・福島県)被災車両復興支援

令和5年9月8日の台風13号の影響により、千葉県・茨城県・福島県などで線状降水帯が発生し、この3つの地域の住宅浸水被害は床上・床下合わせて約3800棟(※)と、大きな被害をもたらしました。

千葉県

復興支援対応として、9月13日に千葉県茂原市に対策本部を設置し、9月18日より被災車両の引取作業をスタートしました。千葉ヤードでは南関東支部の組合員「8社」が活動して車両の撤去を行いました。



茨城県

復興支援対応として、9月13日に茨城県高萩市に対策本部を設置し、9月18日より被災車両の引取作業をスタートしました。茨城ヤードでは北関東支部の組合員「4社」が活動して車両の撤去を行いました。



福島県

復興支援対応として、9月13日に福島県いわき市に対策本部を設置し、9月18日より被災車両の引取作業をスタートしました。福島ヤードでは東北支部の組合員「4社」が活動して車両の撤去を行いました。



残暑の厳しい中で、過酷な状況での活動となりましたが、迅速に対応し、被災地の復興支援を後押しすることができました。

※出展: 国土交通省ウェブサイト「令和5年台風第13号による被害状況等について(第9報)」

NGPパーツ王、ヤフオク!ベストアワード2023で「自動車パーツ部門賞」を受賞

NGPが一般カーユーザーに向けて高品質な自動車リユース部品の販売を展開する「NGPパーツ王」は、2022年6月より、LINEヤフー株式会社が運営する日本最大級のインターネットオークションサービス「ヤフオク!」と、オンラインショッピングモール「Yahoo!ショッピング」へ出店し、約100万点に上るNGPの自動車リユース部品を公開しています。

「ヤフオク!」が2024年3月7日に開催した「ヤフオク!ベストアワード2023」にて、豊富な出品点数と販売が評価され、「NGPパーツ王ヤフオク!店」として「自動車パーツ部門賞」を受賞しました。

昨年の「急上昇ストア賞」に続いて、2年連続の受賞となります。



交通遺児育英会の活動支援

保護者の交通事故が原因で経済的に修学が困難となる子どもたちが一人でも減ることを願って、NGPは1991年より30年間、売上の一部を交通遺児育英会の「あしながおじさん奨学金制度」に寄付しています。



ベルマーク運動

●2012年2月ベルマーク協賛加盟

2011年3月11日に発生した「東日本大震災」をきっかけに、全国の子どもたちのためにベルマーク支援活動を開始



ISO 一括合同認証取得

- 2016年9月：「ISO9001/14001/27001」を業界初となる一括合同認証取得
- 2018年11月：「ISO45001」をプライベート認証取得

組合員会社131社のうち100社[※]が取得。
 全社取得に向け鋭意邁進中!

※2024年9月時点

NGPはこれらISOマネジメントシステムに裏付けられた組合活動・企業経営により、自動車リサイクル事業を通して地域社会とお客様、さらにはすべてのステークホルダーの皆様のご期待にお応えする活動を推進していきます。



サーキュラーエコノミーキャンペーン 『廃車とリユース部品で日本の資源を守る!』開催

2024年7月1日～8月31日までの2か月間「サーキュラーエコノミーキャンペーン『廃車とリユース部品で日本の資源を守る!』」を開催。

今回のキャンペーンは、主に自動車整備・钣金事業者様向けに、サーキュラーエコノミーの実現の重要性をユーザーに訴求するきっかけとしていただくことを目的としたもので、サーキュラーエコノミーの実現を目指すキャンペーンは、自動車リサイクル業界では初となります。今回より、NGPリユース部品に貼付しているギャランティシールを3枚1口にして応募していただくコースに加えて、廃車の提供により進呈されるサーキュラーエコノミーシールを1枚1口にして応募可能なコースを新設。

賞品に「NGPリサイクル部品利用券」を設定するとともに、廃車から取り出した資源量、リユース部品の利用によるCO₂削減量を見える化した「環境貢献書」を提供しました。

リユース部品で応募するコースは6,147通(28,055口)、廃車の提供で応募するコースは2,520通(8,782口)の応募をいただきました。



サーキュラーエコノミーシール



「廃車といえば廃車王」、業界No.1のサービス提供のため加盟店会議実施

2023年12月12日、業界No.1の対応品質を目指して、顧客満足度向上を目的とした「廃車王」加盟店向け会議を実施しました。

今回は、加盟店に寄せられた感謝の言葉や、過去のクレームなどの共有を行い、特にクレームになりやすい事案については注意喚起と再発防止を全体に促すとともに、お客様に安心して任せていた

だけるように、本来あるべき対応について議論を深めながら対応方法の確認を行いました。

お客様から廃車王に頼んでよかったと思われるように、サービス品質向上に向けた取組を継続してまいります。



1985年	4月	九州3社により「西日本グッドパーツグループ」としてスタート
1987年	3月	本部設立、事務所を福岡に開設
	4月	「日本グッドパーツ (NGP) グループ」に名称変更
1989年	6月	NGP オンラインネットワーク完成
1990年	11月	株式会社エヌ・ジー・ピーを設立(現:株式会社NGP)
1991年	1月	「NGP ニュース」を創刊
1995年	11月	「日本自動車リサイクル部品販売団体協議会」発足、同協議会加盟
1998年	10月	「リサイクル部品協力店」14,000店達成
2000年	5月	大東京火災海上保険(株)(現:あいおいニッセイ同和損害保険株式会社)との間でリサイクル部品供給、及び全損車両回収業務提携
2001年	10月	トヨタ部品共販株式会社へリサイクル部品供給開始
2002年	2月	第1回国際オートアフターマーケット EXPO2002 出展
2003年	9月	NGPグループ本部を東京都港区に移転
2004年	10月	「NGP日本自動車リサイクル事業協同組合」設立(経済産業省所管)
2005年	5月	日本自動車車体整備協同組合連合会に賛助会員として入会
	6月	NECソフトとの協同開発による新NGPシステム完成
	9月	NGPシステムとJAPRAシステム相互利用に合意
	11月	廃車買取サイト「くるマック」全国展開(現:廃車王)
	12月	日本自動車車体整備協同組合連合会とNGPダイレクト試験運用開始
2006年	6月	マツダ部品販売株式会社(現:マツダ・パーツ)へリサイクル部品供給開始
	8月	あいおいエコパートナーへのNGPダイレクトシステム展開
		BS サミット会員へのNGPダイレクトシステム展開
	10月	ロータス会員へのNGPダイレクトシステム展開
	12月	エコプロダクツ2006に出展(以降、毎年出展)
2007年	1月	JA 共済連と全損車両回収の業務提携
	2月	NPO 法人世界(旧:広島未来グループ)入会
	5月	早稲田大学・JAPRA・NGP共同でCO ₂ 削減効果のデータベース構築
	7月	オートバックセブんと車輻引取りの業務提携
	9月	ISO9001 認証取得(NGP組合本部)
2008年	4月	株式会社損害保険ジャパンと全損車両回収の業務提携
	9月	海外向けNGP個社ダイレクトシステム運用開始
2009年	3月	リターナブル梱包材運用開始
	10月	「コンピュータ画像検索システム」テスト運用開始
2010年	3月	「クレーム情報検索の電子化」で情報収集
	9月	再生資源回収利用協会視察団(中国)来日
	10月	韓国リビルト工業会と交流覚書の調印
		ユーザー向けに優良な整備事業者を紹介するWebサイト「NGPエコひろば」開設
2011年	4月	東日本大震災被害車両の回収活動実施

2011年	7月	部品ごとの「CO ₂ 削減効果の見える化」を開始
2012年	4月	リユース部品にベルマークをつけてベルマーク運動に協賛
	10月	業界初のテレビCM放映開始
2013年	1月	NGP 青年部発足
		全国自動車整備協業協同組合協議会とのリサイクル部品流通に関する提携合意調印
	4月	「マフレ・ワランティ・ジャパン」と業務提携
	5月	「自動車リサイクル部品産学共同研究会」を発足
	12月	廃車買取サイト「くるマック」を「廃車王」にリニューアル
2014年	3月	「東日本自動車解体処理協同組合」と業務提携
	7月	「自動車リサイクル関連総合サービスサイト」を開設
	10月	かんたん钣金見積システム「ぱっと!くん」をあいおいニッセイ同和損保と共同開発
2015年	7月	「NGPパーツ王」としてAmazonでリユース部品販売開始
	9月	関東・東北豪雨被災車両の回収復興支援開始
		ISO9001・14001合同認証取得(組合本部/組合員70社)
2016年	4月	CO ₂ 削減効果値の理論的根拠の発表
	9月	ISO27001合同認証追加取得(組合本部/組合員101社)
	10月	NGP 創立30周年記念式典を開催
2017年	3月	ホームページ全面リニューアル
	8月	「NGP産学共同研究会」主要売れ筋部品「91.4%」のCO ₂ 削減効果値を算出
	10月	「ブロードリーフ」と業務提携
2018年	4月	「廃車王」業界初の全国テレビCM放映
	7月	「平成30年7月豪雨」被災車両の回収復興支援実施
	11月	ISO45001合同認証追加取得(組合本部/組合員101社)
2019年	7月	SDGs宣言及び取組み推進活動開始
	9月	九州北部豪雨による被災車両の回収復興支援実施
	10月	台風15・19号・豪雨による被災車両の回収復興支援実施(全国8ヶ所)
2020年	1月	NGPシステム大幅改良(一般向け形状マスター化)
	3月	外務省「JAPAN SDGs Action Platform」取組み事例にSDGs活動掲載
	7月	九州豪雨水害による被災車両の回収復興支援実施
2021年	2月	「NGPアップサイクルプロジェクト」始動
	5月	「NGPバーチャル工場見学会」開始
	6月	「ビィ・フォアード社」と業務提携
2022年	5月	NGP パーツ王「ヤフオク!店」及び「Yahoo!ショッピング店」をオープン
	9月	業界初の取組みとなる自動車リサイクルを通じたカーボンニュートラル・SDGsの取組み支援サービスを開始
2023年	4月	日本国内最大級の自動車リサイクル部品の在庫共有ネットワーク「オールリサイクルパーツネットワーク」が誕生
	7月	NGPグループ本部を東京都港区高輪から同区港南に移転
2024年	3月	「NIKKEI脱炭素アワード2023」にて「奨励賞」を受賞

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合

- 所在地：
 - [本部]
 - 〒108-0075 東京都港区港南 2-12-32 サウスポート品川 4F
 - TEL：03-6705-1208
 - FAX：03-6705-1209
 - URL：https://www.ngp.gr.jp/
- 創立：1985年4月
- 代表者：理事長 小林 信夫
- 組合員数：131 組合員、157 拠点
- 事業内容：
 - 健全な自動車リサイクル事業の構築を目指し、全国組合員企業の経営意識向上、意識改革までの「企業の社会責任」を遂行し、補修部品の消費者へ啓蒙と販売
- 受賞歴
 - 2016年 10月 「中小企業団体全国大会」にて「優良組合賞」
 - 2021年 2月 「第17回LCA日本フォーラム賞」にて「経済産業省産業技術環境局長賞」
 - 「第24回中小企業組織活動懸賞レポート」にて「本賞」
 - 12月 「第22回グリーン購入大賞」にて「大賞・経済産業大臣賞」
 - 「令和3年度気候変動アクション環境大臣表彰」
 - 2022年 11月 「2022年度持続可能な社会づくり活動表彰」にて「資源循環活動賞」
 - 12月 「第5回エコプロアワード」にて「経済産業大臣賞」
 - 2023年 1月 「第2回クルマ・社会・パートナーシップ大賞」にて「グッドパートナー事業」
 - 2月 「脱炭素チャレンジカップ2023」にて「奨励賞」
 - 3月 NGPパーツ王、「ヤフオク!ベストアワード2022」にて「急上昇ストア賞」
 - 2024年 3月 「NIKKEI脱炭素アワード2023」にて「奨励賞」
 - NGPパーツ王、「ヤフオク!ベストアワード2023」にて「自動車パーツ部門賞」



株式会社 NGP

- 株式会社 NGP は、NGP日本自動車リサイクル事業協同組合の関連会社です。協同組合と一元一体体制のもと、NGP グループ支援を中心に事業展開しております。
- 所在地：
 - 〒108-0075 東京都港区港南 2-12-32 サウスポート品川 4F
 - TEL：03-6705-1212
 - FAX：03-6705-1201
 - URL：https://www.ngp.co.jp/
- 設立：1990年11月
- 代表者：代表取締役 佐藤 幸雄
- 事業内容：
 - NGPシステムの運営管理
 - 損害保険会社及びリース会社使用済み自動車引取窓口業務
 - ISO14001 コンサルティング
 - その他サポート
- 許認可：
 - 古物商許可：東京都公安委員会第 301090207822 号
 - 引取業者登録番号 :20131004378



NGP 三大信条

- 「お客様第一！」
- 「よりよい商品を！より正確に！より早く！」
- 「補修部品業界のリーダーたること！」

SDGsの達成には、1団体の取組みだけでなく、様々な団体と連携しながら取組みを拡大させていくことが不可欠なため、国が設置しているプラットフォームに参加しています。

